



新地町立福田小学校だより

# 観瀾 かんらん

No.16

2021. 9.28

文責 校長

## 地域学習「福田十二神楽」

福島県重要無形民俗文化財に指定されている「福田十二<sup>かくら</sup>神楽」は、少子化や社会生活の変化など様々な要因から、現在、後継者への代替わりが進まず存続の危機にあります。福田十二神楽保存会では存続のために、時代に合わせ、これまでの体制やしきたりなどの見直しを図るとともに、「諏訪神社の神楽」から「福田の子供神楽」へとその意味合いを変更し、宗教色の払拭にも努めているとのこと。



一昨年度、保存会から学校への協力要請がありました。要請を受け学校では、地域を理解し、地域への愛情と誇りを持つことを目標とした「地域学習」の一環としてカリキュラムに組み入れることにしました。昨年度はコロナの影響もあり予定されていた学習が十分にできませんでした。今年度は3年生が「総合的な学習の時間」で、自分たちで神楽について調べたり、諏訪神社の宮司さんから話を聞いたり、また実際に神楽の体験（太鼓や舞）も行ったりしてきています。3年生15人は毎時間目を輝かせて意欲的に学習に取り組み、「十二神楽を詳しく知ることができてよかった。」「難しかったけど楽しかった。」「全部覚えたい。」などの感想も聞かれるなど、その魅力を感じ興味関心を高めているようです。

160年続く「福田十二神楽」は地域の宝であり、人と人をつなぐ「心のよりどころ」であるように感じます。この学習がさらに深まるとともに、「福田十二神楽」の存続、発展に少しでもお役に立てられるよう、保存会と連携、協議しながら、学校の関わり方を検討していきたいと考えています。

### 学習発表会について

昨年度開催できなかった「学習発表会」ですが、今年は以下の感染症対策を講じて実施する予定です。後日、詳しいご案内をお配りいたします。

- 観客数を最大70名程度とし、常時換気をする。
- 全員にマスクの着用と入口での手指消毒をお願いする。
- 前半は1～3年生の発表、後半は4～6年生の発表とする。
- 前半終了後に観客を入れ替える。
- 一家庭での人数は限定しない。
- 他の家族と1mの間隔を空ける。 など

※ 例年だと子どもたちも観覧していましたが、今年は子どもたちは出番以外は教室で過ごすようにします。（担任と一緒に学習しています。）下校は6年生の発表後になります。

### ご紹介します！

10月より新しいICT支援員さんが入りますのでご紹介いたします。

#### ICT支援員

ながつか さやか  
長塚 早也佳

長塚支援員は、福田小学校の出身です。お知り合いの方もいらっしゃるのでは？

よろしく  
お願いします。



明日は遠足。体調を整えて元気に参加してほしいと思います。